

ナイスケアだより

第144号
令和6年5月発行

介護業界で人材不足が今一番の深刻な課題となっております。4月の介護保険報酬改定では訪問介護の報酬点数が下げられ、余計に介護を目指す人材が減ってしまうことが懸念されます。

ここ数年会社で募集をかけても全く反応がなく、ハローワークで採用に至ったケースはなく連絡すらない状況です。現状は有料の紹介会社に頼ることや友人、知人の口コミから採用に繋がるケースがほとんどとなっております。

知り合いの介護の会社は人が集まらなく、会社の吸収合併、身売りを検討しているなどの声も聞かれます。また若い人材が少なく職員の高齢化も今後は深刻な問題となってくると思われます。このままでは介護保険サービスが存在しても利用ができなくなる可能性が予想されます。

介護の仕事は大変ですが、デジタル社会とは反して高齢者・障害をお持ちの方とふれあい個性に合った生活を支える仕事で尊くやりがいのある仕事です。その魅力を少しでも伝えていく必要があります。ナイスケアとしても、今回ホームページをリニューアルしSNSで情報の発信や研修会を実施していきます。介護の魅力ややりがいを伝えていき、その中で介護をやってみたいと考える方などに対し積極的に支援していきます。地域の中で質の高い介護が常に行き届くように努力を続けていきます。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～リアル脱出ゲーム～

先日、参加者がストーリーの設定された部屋に閉じ込められ、与えられた制限時間内に謎解きして部屋から脱出することを目指す『リアル脱出ゲーム』にインターネット上で知り合った初対面の人、5人とゲーム直前に合流して挑戦してきました。

私を含めたほとんどのメンバーがリアル脱出ゲーム初挑戦、かつ初対面であったこともあり、最初は互いに緊張していました。しかしゲームが進むにつれて徐々に打ち解け、一致団結して謎を解き進めていきました。数多くの謎解きがありましたが、最終的には制限時間ギリギリのタイミングで脱出に成功する事ができました。

リアル脱出ゲームが終わった頃には初対面だということにすっかり打ち解け、感想や互いの趣味の話などプライベートな話もできるようになっていました。同じ体験をするとすぐに打ち解けるものだと感じました。

インターネット上で知り合った人と一緒になにかをすることは怖いことだと感じるかもしれませんが、実際にやってみると想像以上に楽しいことでした。皆さんの新しい出会いはどんな出会いですか？

高岡 創